

今回は、「高校生と共に歩むまちづくり」の報告です。

◇ 関・加納・長良3校の代表生徒の発表を行いました！

日時：令和5年1月29日（日）
場所：メディアコスモス（岐阜市司町40番地5）
主催：岐阜市まちづくりサポートセンター
コーディネーター：富樫幸一氏（岐阜大学特任教授）
発表：

関高等学校	特産品を生かしたまちづくり
加納高等学校	岐阜大仏の謎を探る
長良高等学校	岐阜市の地域課題を考える



◇ 当日の様子



岐阜市まちづくりサポートセンターの藪下浩さん（本校卒業生）から、「まちづくりをテーマとした高校生の発表会、市民との交流会を開きたい」とのご提案をいただいたことが、今回のイベント参加につながりました。

今回のイベントには、関市、岐阜市の進学校3校が参加しました。

関高校は、有志グループによる関市の特産品キウイを生かした地域振興事業「ほらどキウイを未来につなごう！プロジェクト」、及び同じく特産品である円空サトイモでつくった「まるそらドーナツ」の活動報告を行いました。商品開発やマルシェでの販売等、実践活動が伴っているところが大きな特徴です。

加納高校は、地域研究部が取り組んだ郷土史研究の発表を行いました。木材と竹を組み、和紙を貼って漆と金箔で仕上げた珍しい仏像で、「岐阜大仏」といわれています。江戸後期に有力商人たちにより造営されたこと、財力のある商人が武士に代わって大きな力をもつようになった背景があることなどを、古文書や地図の分析から明らかにした労作です。



長良高校は、1年生全員が「総合的な探究の時間」で取り組んだ「岐阜市の地域課題」に関する発表を行いました。岐阜市内のフィールドワークやグループ討議、クラス発表を通じて、地域の課題解決提案につなげていく活動の報告です。観光地や企業、商店街を実際に訪ねて考える活動であり、臨場感ある発表となりました。

活動主体（有志・部活動・学年）も、活動形態（実践活動・調査研究・提案作成）も、くっきりと分かれていて、まちづくりに関わる高校生の活動の様々なかたちを知ることができ、大変有意義なイベントとなりました。

後半は、長良高校コーラス部の演奏のあと、コーディネーターの富樫幸一先生、及び各校の代表生徒によるトークセッションが行われました。